

Arcstar Smart PBX

【SR-7100VN】

ファームウェアVerUP手順書

NTTドコモビジネス株式会社
第1.6版

2025年7月1日

作業概要

【はじめに】

本手順書は、Arcstar Smart PBXサービス(以降、SmartPBXと記載)をご利用中のお客様向け、SR-7100VN(転送GW)のファームウェアバージョンアップ手順書です。

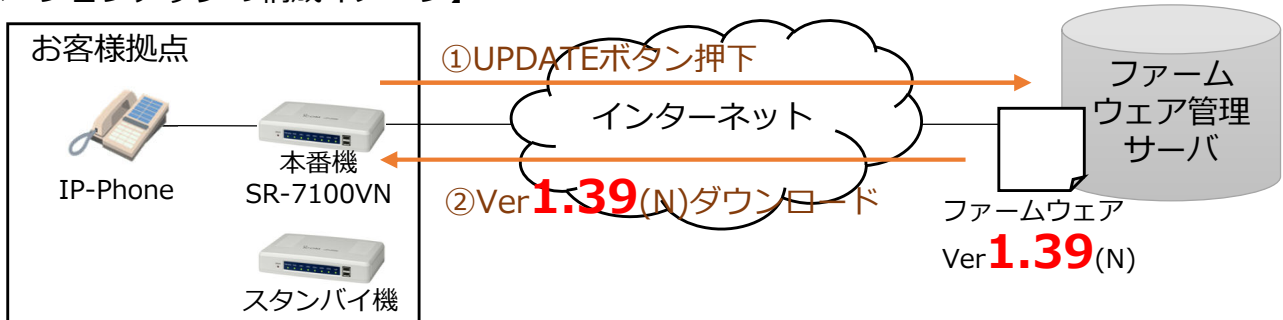
【バージョンアップ後のファームウェア】

Ver**1.39**(N)


注意事項

- ・ バージョンアップ作業中はSmartPBXサービスがご利用できません。
- ・ バージョンアップ中は絶対にSR-7100VNの電源を切らないでください。
- ・ 本番機とスタンバイ機を切替える際に、SR-7100VNのケーブル抜き差しが発生しますので、差し間違いが発生しないよう事前に十分ご確認ください。

【バージョンアップの構成イメージ】

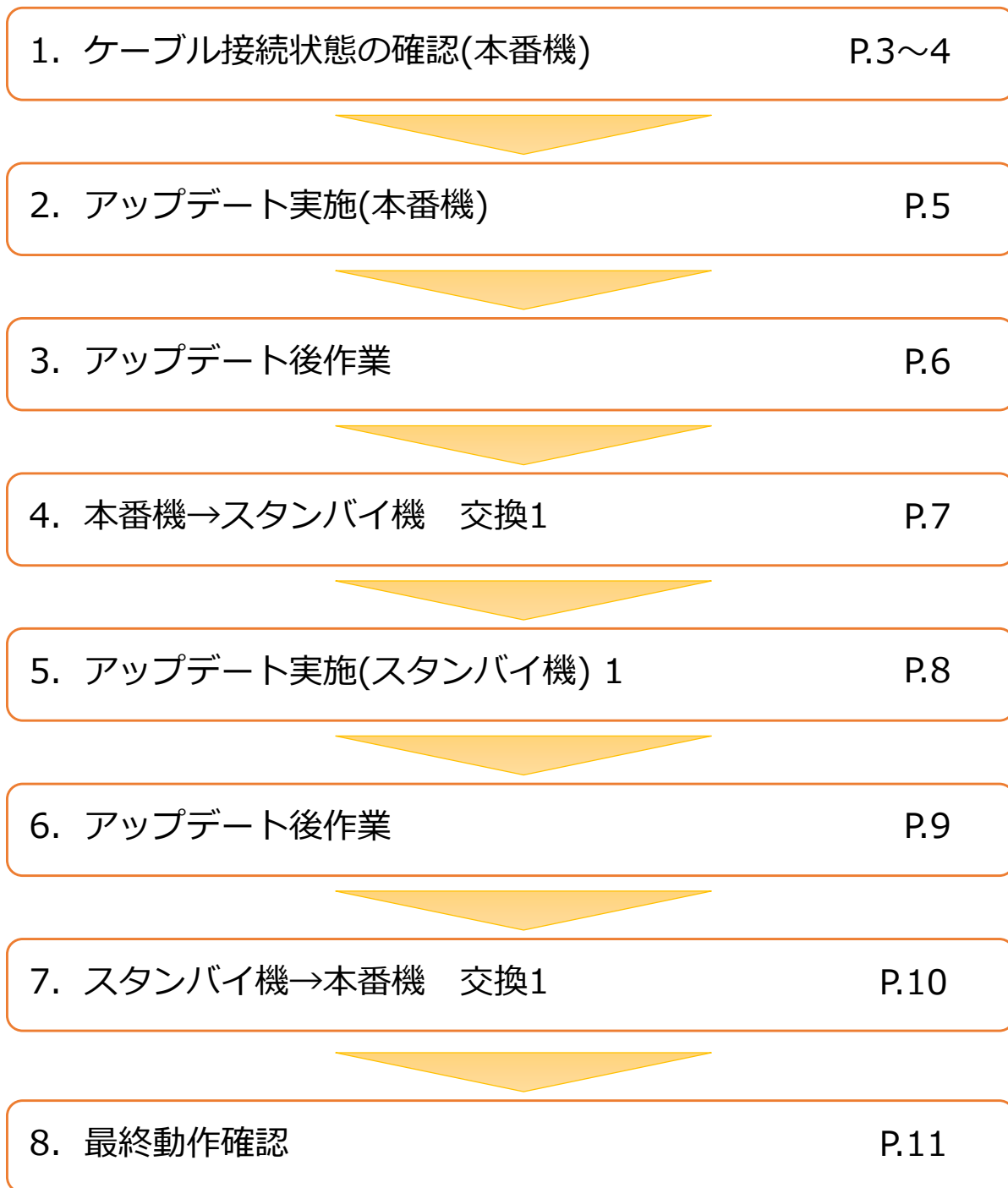


SR-7100VNからファームウェア管理サーバ(以降、サーバと記載)に対してアップデート要求を行い、サーバからファームウェア(Ver**1.39**(N))をダウンロードしてきます。

前提条件	<ol style="list-style-type: none">1. 作業は、SR-7100VNがオンライン状態(インターネット接続)で実施する必要があります。 ※オンライン状態でない場合は、再起動しオンライン状態になったことを確認してから実施してください。2. お客様拠点からサーバ(any)に対してHTTP通信(TCP/ポート80)が可能である必要があります。
事前準備	<ol style="list-style-type: none">1. SR-7100VN前面部<UPDATE>ボタンを押下するために、ペン先や爪楊枝のような細長いものをご用意ください。 ※押下イメージ 2. SmartPBX「Web設定変更」ページへログインする環境をご準備ください。<ul style="list-style-type: none">-インターネット接続できるPC(ブラウザはInternetExplorer推奨)-ビジネスポータルのログイン情報-SmartPBX「Web設定変更」ページのログイン情報3. ケーブル識別シールは必要に応じてご準備ください。

作業全体の流れ

以下に、全体の作業の流れを示します。なお、本番機のみ契約されているお客様については、本番機のためのアップデート作業になるため、以下の4～8の作業は実施不要です。



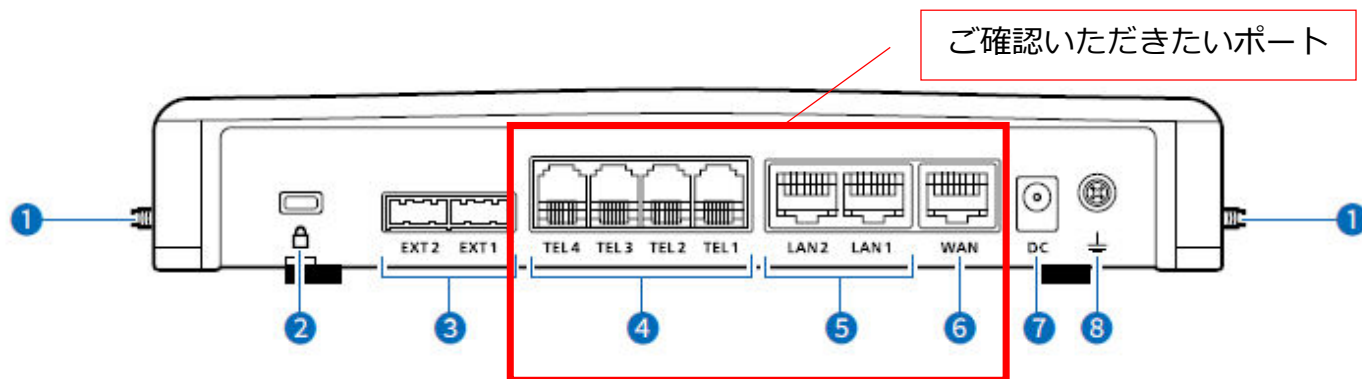
本番機のみ契約のお客様は実施不要です。

1. ケーブル接続状態の確認(本番機)

まず始めに、SR-7100VN(本番機)のケーブル接続状態を確認してください。スタンバイ機のアップデートを行う際に、本番機からスタンバイ機へケーブルの差替えを行いますので、元の構成に戻せるように最初の状態の確認を行います。

1-1 SR-7100VN(本番機)の各ポートについて

各ポートの説明は以下の通りです。SmartPBXでご利用のポートは以下の④～⑥になります。



[図：SR-7100VN後面部]

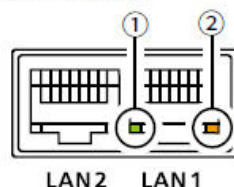
- ④ [TEL] (1～4)ポート……………
(RJ-11型×4)

アナログ電話機やG3ファクシミリを接続します。

- ⑤ [LAN] (1/2)ポート ……………
(RJ-45型×2)

HUBなどのネットワーク機器と接続します。

ランプ表示

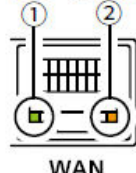


- 点灯：LAN接続時
点滅：LANデータ通信中
①緑色：1000BASE-T時
②橙色：10BASE-T/100BASE-TX時

- ⑥ [WAN]ポート……………
(RJ-45型×1)

ADSL、VDSL、CATVでお使いのブリッジタイプモデム、またはFTTHでお使いの回線終端装置と接続します。

ランプ表示



- 点灯：WAN接続時
点滅：WANデータ通信中
①緑色：1000BASE-T時
②橙色：10BASE-T/100BASE-TX時

1. ケーブル接続状態の確認(本番機)

1-2 ケーブル識別シール貼り

④～⑥に接続されているケーブルにケーブル識別シールを張り、各ケーブルがどのポートに接続されているか確認、タグ付けを行ってください。

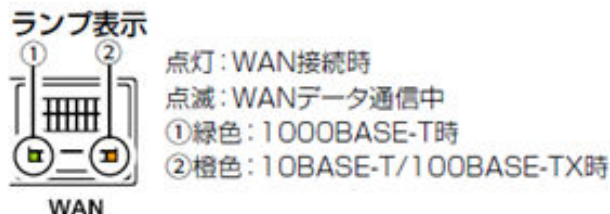
※識別シールは必要に応じてお客様でご用意ください。



1-3 ランプ状態確認

後面部の[WAN]ポート、[LAN]ポートについては、ケーブルが接続されているポートのランプ状態も控えておいてください。(ランプ状態は下記を参考)

[WANポート]



メモ (控え)	WAN：□点灯、□点滅 / □緑、□橙
------------	---------------------

[LANポート]



メモ (控え)	LAN 1：ケーブル接続 □有、□無 / □点灯、□点滅 / □緑、□橙
	LAN 2：ケーブル接続 □有、□無 / □点灯、□点滅 / □緑、□橙

2. アップデート実施(本番機)

本番機のアップデート作業を実施します。

2-1 [MSG]ランプ、[WAN]ランプの確認

前面部の[MSG]ランプと[WAN]ランプが緑点灯していることを確認します。

※その他のランプ状態はお客様によって異なります。

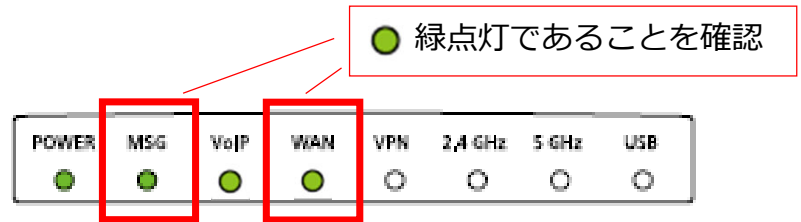
※前面部の[MSG]ランプと[WAN]ランプが緑点灯以外の状態の場合や、この後の操作をしても動作しない場合は、**転送GWを再起動**してください。**再起動直後はMSGランプが消灯のままの場合もありますが、アップデート作業自体は可能です。**

[MSG]ランプ

緑点灯：ファームウェア更新ファイルあり

[WAN]ランプ

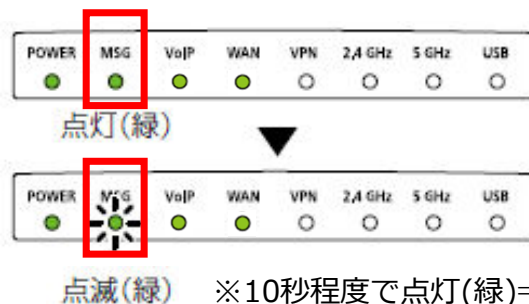
緑点灯：WAN接続完了



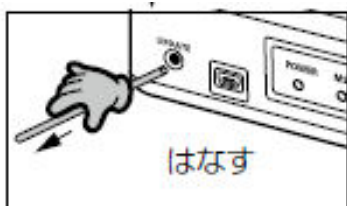
[図：SR-7100VN前面部]

2-2 <UPDATE> ボタン押下

[MSG]ランプが ● 点灯(緑)から ☀ 点滅(緑)になるまで<UPDATE> ボタンを押下します。



[MSG]ランプが ☀ 点滅(緑)したことを確認して<UPDATE> ボタンから手を放します。



ファームウェアのダウンロードが開始され、アップデート後に自動で再起動(約5分程度)を実施します。(お客様ネットワークの帯域によってダウンロードに時間がかかる場合がございます。)

注)再起動が完了するまで絶対に電源を落とさないでください。

一度全点灯(赤)し、再起動後にランプ再点灯(緑)になります。



再起動後、POWERとWANの緑ランプが緑点灯し、1時間以上たってもMSGランプがつかなければアップデート完了です。

3. アップデート後作業

本番機のアップデートが完了したら、事後作業を行います。本章の作業実施は任意ですが、原則実施いただくことを推奨しております。

3-1 「Web設定変更」ページの更新

別紙「Web設定変更サイトでの更新手順書」を参考に実施してください。

本作業はSR-7100VNをSmartPBXの内線サーバに登録するための作業です。本作業を実施しなくても、1時間以上経過すれば自動で登録完了しますので、必要に応じて実施してください。

3-2 IP-Phoneの再起動

SR-7100VN配下の各IP-Phoneの再起動を以下、いずれかの手順で実施してください。なお、この手順はアップデート後、早期にIP-Phoneを利用可能にするための手順です。1時間以上経過すれば自然に利用可能になりますので、必要に応じて実施してください。

【手順1】 (KX-HDV230の場合)

以下の順で選択してください。

メニュー > システム設定 > システムオプション > リスタート > はい
(機械音が鳴り、再起動が始まります。)

【手順2】

電源のOFF/ONを実施(電源ケーブル/PoEケーブル抜去→電源ケーブル/PoEケーブル接続)

3-3 動作確認

IP-Phoneの再起動までが完了したら、発着信等を行い動作に問題が無いことをご確認ください。

以上で、本番機のアップデートは完了です。次にスタンバイ機のアップデートを行います。

4. 本番機→スタンバイ機 交換

スタンバイ機のアップデート作業を行うため、本番機に接続されているケーブルを抜き、スタンバイ機側に差替えます。手順「1-2 ケーブル識別シール貼り」でケーブルがタグ付けされていることを確認した上で作業を行ってください。

4-1 本番機のケーブル抜去

SR-7100VNの本番機から、P3 ④～⑥の各ポートに接続されているケーブルをすべて抜きます。④TELポートのケーブルを抜去する際は対向機器の仕様に応じて対向機器のシャットダウンなどを実施して下さい。

4-2 スタンバイ機の起動とケーブル接続

スタンバイ機の電源がOFFの場合は1度スタンバイ機の電源をONにしてください。

スタンバイ機が起動し、POWERランプが点灯(緑)になったら起動完了です。



POWERが ● 緑点灯になったら起動完了。

事前に確認いただいた本番機と同じ様に、スタンバイ機にケーブルを接続してください。④TELポートのケーブルを接続する際には対向機器の仕様に応じて対向機器のシャットダウンなどを実施して下さい。

4-3 接続状態の確認

ケーブルが正しいポートに接続されていること、[MSG]ランプを除く、その他ポートのランプ状態が本番機と同様であることを確認してください。

5. アップデート実施(スタンバイ機)

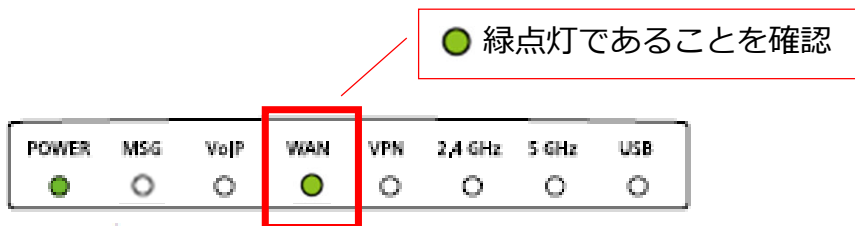
スタンバイ機のアップデート作業を実施します。本番機とは[MSG]ランプの状態が異なっている可能性があります、その他は本番機と同様の手順で実施します。

5-1 [WAN]ランプの確認

前面部[WAN]ランプが緑点灯していることを確認します。

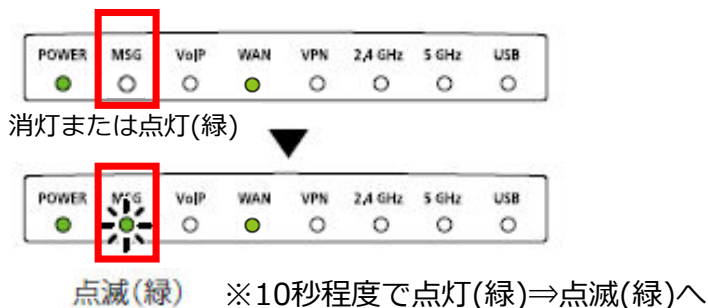
※[MSG]ランプは消灯でも緑点灯でもどちらでも構いません。

WANケーブル接続直後はMSGランプが消灯のままの場合もありますが、アップデート作業自体は可能です。



5-2 <UPDATE> ボタン押下

[MSG]ランプが ○ 消灯または ● 点灯(緑)から ☼ 点滅(緑)になるまで<UPDATE> ボタンを押下します。



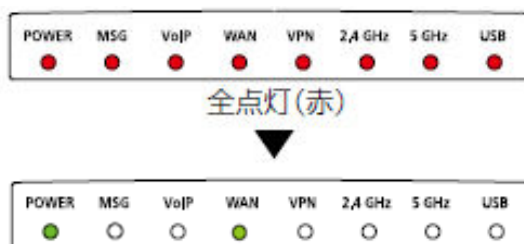
[MSG]ランプが ☼ 点滅(緑)したことを確認して<UPDATE> ボタンから手を放します。



ファームウェアのダウンロードが開始され、アップデート後に自動で再起動(約5分程度)を実施します。(お客様ネットワークの帯域によってダウンロードに時間がかかる場合がございます。)

注)再起動が完了するまで絶対に電源を落とさないでください。

一度全点灯(赤)し、再起動後にランプ再点灯(緑)になります。



再起動後、POWERとWANの緑ランプが緑点灯し、1時間以上たってもMSGランプがつかなければアップデート完了です。

6. アップデート後作業

スタンバイ機のアップデートが完了したら、事後作業を行います。本章の作業実施は任意ですが、原則実施いただくことを推奨しております。

6-1 「Web設定変更」ページの更新

別紙「Web設定変更サイトでの更新手順書」を参考に実施してください。

本作業はSR-7100VNをSmartPBXの内線サーバに登録するための作業です。本作業を実施しなくても、1時間以上経過すれば自動で登録完了しますので、必要に応じて実施してください。

6-2 IP-Phoneの再起動

SR-7100VN配下の各IP-Phoneの再起動を以下、いずれかの手順で実施してください。なお、この手順はアップデート後、早期にIP-Phoneを利用可能にするための手順です。1時間以上経過すれば自然に利用可能になりますので、必要に応じて実施してください。

【手順1】（KX-HDV230の場合）

以下の順で選択してください。

メニュー > システム設定 > システムオプション > リスタート > はい
(機械音が鳴り、再起動が始まります。)

【手順2】

電源のOFF/ONを実施(電源ケーブル/PoEケーブル抜去→電源ケーブル/PoEケーブル接続)

6-3 動作確認

IP-Phoneの再起動までが完了したら、発着信等を行い動作に問題が無いことをご確認ください。

以上でスタンバイ機のアップデートは完了です。最後に作業前の接続構成に本番機を戻します。

7. スタンバイ機→本番機 交換

本番機に戻すための作業を行います。（任意）

7-1 スタンバイ機のケーブル抜去

SR-7100VNのスタンバイ機から、P3 ④～⑥の各ポートに接続されているケーブルをすべて抜きます。④TELポートのケーブルを抜去する際には対向機器の仕様に応じて対向機器のシャットダウンなどを実施して下さい。

7-2 本番機のケーブル接続

本番機の電源がOFFの状態の場合は1度本番機の電源をONにしてください。

本番機が起動し、POWERランプが点灯(緑)になったら起動完了です。



POWERが ● 緑点灯になったら起動完了。

事前に確認いただいた通りに本番機にケーブルを接続し、作業開始前の構成に戻してください。④TELポートのケーブルを接続する際には対向機器の仕様に応じて対向機器のシャットダウンなどを実施して下さい。

7-3 接続状態の確認

ケーブルが正しいポートに接続されていること、[MSG]ランプを除く、その他ポートのランプ状態が作業開始前と同様であることを確認してください。

以上で、本番機への戻し作業は完了です。

8. 最終動作確認

本番機の戻しが完了したら、最終動作確認を行います。

8-1 「Web設定変更」ページの更新

別紙「Web設定変更ページでの更新手順書」を参考に実施してください。

本作業はSR-7100VNをSmartPBXの内線サーバに登録するための作業です。本作業を実施しなくても、1時間以上経過すれば自動で登録完了しますので、必要に応じて実施してください。

8-2 IP-Phoneの再起動

SR-7100VN配下の各IP-Phoneの再起動を以下、いずれかの手順で実施してください。なお、この手順はアップデート後、早期にIP-Phoneを利用可能にするための手順です。1時間以上経過すれば自然に利用可能になりますので、必要に応じて実施してください。

【手順1】 (KX-HDV230の場合)

以下の順で選択してください。

メニュー > システム設定 > システムオプション > リスタート > はい
(機械音が鳴り、再起動が始まります。)

【手順2】

電源のOFF/ONを実施(電源ケーブル/PoEケーブル抜去→電源ケーブル/PoEケーブル接続)

8-3 動作確認

「7. スタンバイ機→本番機 交換」作業終了1時間経過後、または8-1、8-2作業が完了したら、発着信等を行い動作に問題が無いことをご確認ください。

以上で全ての作業が完了です。

補足. 機器ファームウェアバージョン確認

アップデート作業における<UPDATE>ボタン押下後に、[MSG]ランプが点滅しない際などに転送GWのファームウェアバージョンを以下の手順にてご確認ください。

etc-1 確認用パソコンの接続

1. 確認用パソコンを転送GWの[LAN]ポートに接続します。

etc-2 管理者用の設定画面へアクセス

1. WWWブラウザを起動し、WWWブラウザのアドレスバーに、別途ご案内している“設定シート(設定値一覧)”に記載されている「■管理者情報－アクセスURL (http://機器のLAN側IPアドレス/admin)」を入力します。
入力例) <http://192.168.1.1/admin>
2. [Enter]キーを押します。
3. [ユーザ名]欄および[パスワード]欄に、“設定シート(設定値一覧)”に記載されている「■管理者情報－ログインID / パスワード」を入力し、<OK>をクリックします。

etc-3 ファームウェアバージョンの確認

1. 左端のタブに表示されている「管理」－「ファームウェアの更新」をクリックします。
2. 「ファームウェア情報」に表示されているバージョンをご確認ください。
3. (バージョンが「Ver. **1.39**(N) Copyright 2015-2022 Iom Inc」となっていない場合)
ファームウェアのバージョンが最新となっていないため、本資料のファームウェアバージョンアップ手順を再実施してください。

※ログインの際に必要な「ユーザ名」「パスワード」が不明な場合、
同転送GW設置・初期設定いただいた際のご担当者（または業者様）へご確認ください、
または製造メーカ(icom社)ホームページで公開中の以下マニュアルをご参照ください。
同マニュアルではファームウェアバージョン確認手順についてもご確認ください。

「設定マニュアル Ver**1.39**(N)」

<https://www.icom.co.jp/support/manual/2428/>

2-2、2-19ページ : 管理画面へのログイン方法、およびログイン後TOP画面のご案内
4-318ページ : ファームウェアバージョン確認方法のご案内

注意事項

WWWブラウザについて

Microsoft© Microsoft Edge ver 107.0.1418.35で動作確認しています。

設定画面が正しく表示できるように、WWWブラウザのJavaScript©機能、およびCookieは有効にしてください。